

知られざる魅力に溢れる 絶海の孤島イースター島と太平洋の楽園タヒチ



小山さやか

絶海の孤島イースター島

皆さまは、モアイ像で有名なイースター島がどこにあるかご存知ですか。南太平洋に浮かぶ小豆島ほどの小さな島で、南米大陸からは約3,700km離れており、タヒチからも4,000km以上離れているため、地図上で見つけるのは難しいかもしれません。島の最高峰マウンガ・テレヴァカ(507m)の山頂に立つと、360度大海原が見渡せ、まさに太平洋のど真ん中にいることを実感できます。ポリネシアの人たちが、大型カヌーで航海した果てにこの島に辿り着いたことを思うと、感服せずにはいられません。

興味が尽きないモアイ像

島には1,000体以上ものモアイ像が存在していると言われていますが、そのほとんどは、島の南東部にあるラノ・ララクと呼ばれる火山帯の山から切り出されています。ここに至る3kmほどの道は、「モアイの道」と呼ばれるトレイルが敷かれており、運搬中に倒れたのであろうモアイ像が10数体点在しています。モアイ像の運搬方法は諸説ありますが、「モアイは自ら歩いた」という当時の島民の証言から、頭にロープを巻いてそれを左右から引っ張り、歩かせるように運搬した説が有力だそうです。真実のほどはさておき、倒れたモアイ像を見るにつけ、想像力を働かさずにはいられません。



▲モアイ像を前にハイ・チーズ! 日本のクレーンメーカーの協力で復興したアフ・トンガリキのモアイ像は、圧巻のひと言

急峻な山々の展望と美しい海を満喫 タヒチ・モーレア島

海のイメージが強いタヒチですが、実は緑豊かな森に覆われています。特にモーレア島は、ゴーギャンが「太平洋の古城」と称した通り、急峻な山々が連なっており、優れた山岳展望が魅力です。端正な山容が美しいロツィ山や、島のシンボルでもあるバリハイ山など印象的な山容の山が多く、独特の風景が広がります。古くからポリネシアの人たちが食べたり利用したりした植物の解説を聞きながら森の中を歩いていると、植生の豊かさに気づき驚きます。リゾートホテル

に2連泊しますので、ハイキングのあとは シュノーケリングやカヤックなどのマリンス ポーツもたっぷりとお楽しみください。緑の 森と青くきらめく海、タヒチの魅力を存分に 感じていただけるはずです。



▲スリー・ココナッツ・パスからの美しいロツィ山の眺め